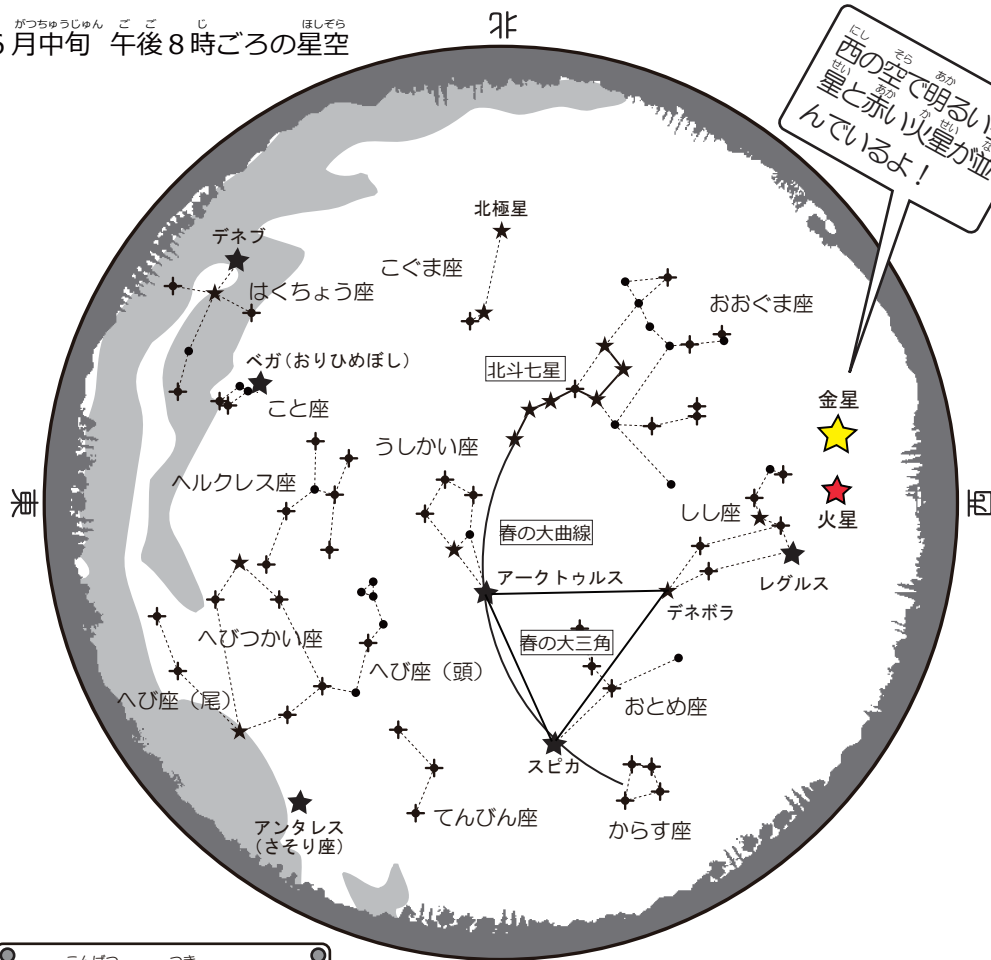


星空だより

2023年6月
No.151
富山市科学博物館

6月中旬 午後8時ごろの星空



西の空で明るい金星と赤い火星が並んでいるよ!

見たい方角が下になるように持ってその方角の空を見てね。

～今月のお月さま～

6月 4日	満月	○
6月 11日	下弦	◐
6月 18日	新月	●
6月 26日	上弦	◑

注目 月と金星と火星

6月22日の宵、西の空で細い月と金星、火星が接近して見られます。金星はとても明るいので、月のそばで輝いているのがすぐ見つかるでしょう。火星は2等星くらいの明るさなので、少し見付けにくいかもしれませんが、月と金星を目印に探してみてください。

6月22日午後8時30分ごろ



黄道十二星座紹介 ☆てんびん座☆



てんびん座は、春から夏の変わり目にある星座で、黄道十二星座の中で唯一道具の星座です。ギリシャ神話の正義の女神アトリアが手に持つ、善悪をはかる天秤といわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道(黄道)に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

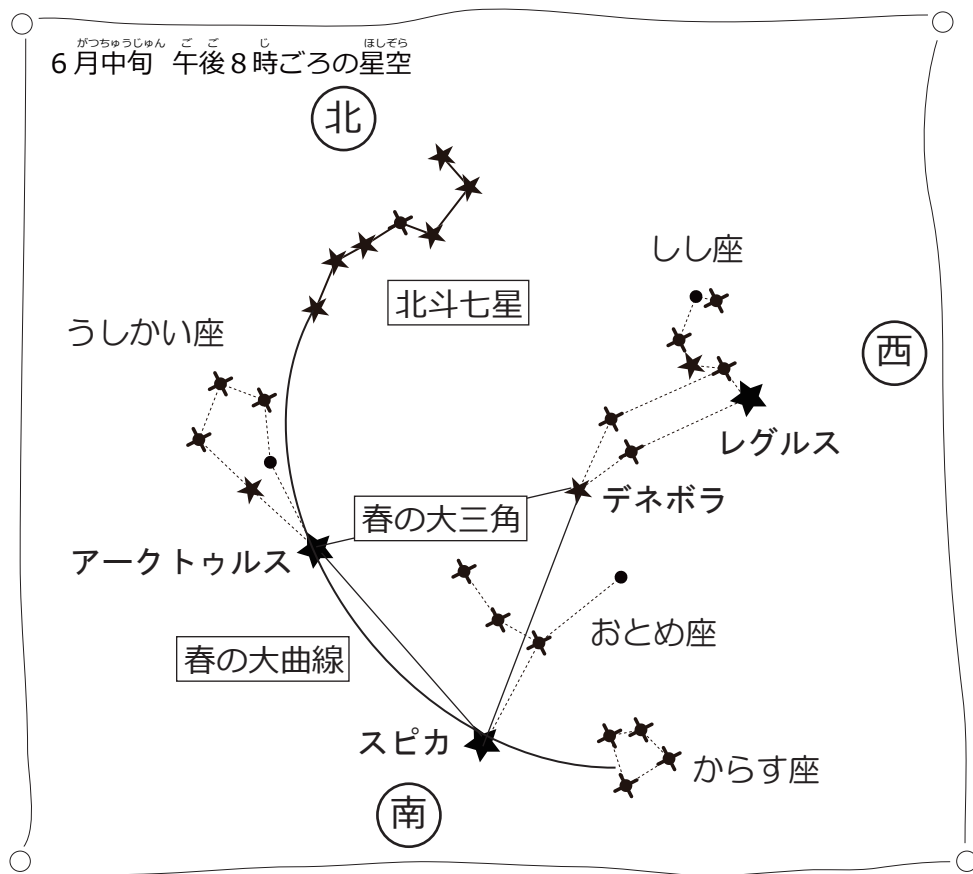
毎週土曜日、事前申込み制で開催中。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の さがしてみよう

春の大曲線



春の大曲線は、北斗七星の「ひしゃく」の持ち手の部分から、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座とつないでできる大きな曲線です。春の大曲線はスピカまでとなっていることが多いですが、からす座までのばすと、アークトゥルス→スピカ→からすと、しりとりになりますよ。

今月のオススメ星座！



へびつかい座

将棋の駒のような形の星座です。頭のところにある星は、ラスアルハゲという2等星で、「へびつかいの頭」という意味です。手に持つへびはへび座という別の星座で、へびつかい座をはさんで頭と尾に分かれています。



ヘルクレス座

ギリシャ神話の英雄ヘラクレスが、星座となって東の空の高いところに見られます。(星座ではヘルクレス座とイイます。) 頭文字と同じHの形が目印です。たくさんの武勇伝をもつヘラクレスですが、星座としてはあまり明るい星がないので、空が暗いところで探してみてください。

天文コラム

6月21日は夏至

今年の夏至は6月21日です。夏至は、昼の長さが一年で一番長い日です。右の表のように、昼の長さが14時間40分あり、昼の長さが一番短い冬至と比べて約5時間も長くなります。夏至の前後は夜8時ごろになってようやく明るい星が見えてくるので、星座を探すのは少し遅い時間の方がいいでしょう。

ところで、夏至は日の出の時間が一年で一番早い、あるいは日の入りの時間が一年で一番遅いと思う人がいるかもしれません。実は、日の出の時刻は夏至の前の約二週間の方が早く、日の入りの時刻は夏至の後の約二週間の方が遅いのです。でも昼の長さの時間では、夏至の日が一番長くなります。

夏至 6/21	日の出 4:33 日の入り 19:13 昼の長さ 14:40
冬至 12/22	日の出 7:00 日の入り 16:39 昼の長さ 9:39